

9条が変わるとどうなるの？

～自衛隊、政治、教育、・・・私たちの生活～

安倍首相は、今年中にも憲法改正を国会で発議し、国民投票に持ち込もうとしています。改正のねらいの中心は、「戦争をしない」「そのための戦力を持たない」と決めた憲法9条を改正することです。

自衛隊の存在を書き込むだけだといっていますが、ほんとうに何も変わらないのでしょうか。

自衛隊を憲法9条に書き込むことは、集団的自衛権を付与された自

衛隊が、軍隊として海外で戦争する事に道を開き、1条・2条は死文化するとの指摘もあります。そのこと自体大変な問題ですが、9条を変えると、政治（外交）・社会にどんな変化ををもたらすのでしょうか。教育そして私たちの生活への影響はないのでしょうか。

そのような生活者の目線からも、憲法学者の稲正樹さんに講演していただきたいと考えています。皆様のご参加をお待ちしています。



2018年春 西かずさ憲法集会

- ◆日時…4月14日（土）
午後2時～4時（開場:1時半）
- ◆会場…木更津中央公民館・大ホール
- ◆講師…稲正樹さん（国際基督教大学元教員）
9条が変わるとどうなるの？
～自衛隊、政治、教育…私たちの暮らし～

稲正樹（いな まさき） 国際基督教大学元教員。専門は、憲法、アジア比較憲法、平和研究。共編著に『平和憲法の確保と新生』（北海道大学出版会）、『アジアの憲法入門』（日本評論社）、『それって本当？ メディアで見聞きする改憲の論理Q&A』（かもがわ出版）、共訳書に『北東アジアの歴史と記憶』（勁草書房）など多数。

主催；西かずさ9条の会

連絡先

090-6149-4132 栗原